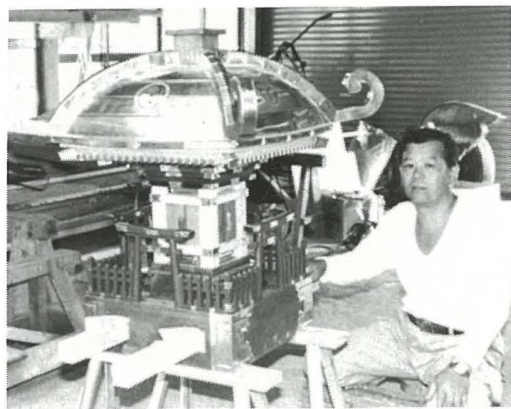


みごとな手づくり御輿 ふるさとまつりで大活躍

町内にお住いの鈴木武さん(小川台)と実川弘夫さん(谷中)が、ふるさとまつりに向けて、すばらしい手づくり御輿をそれぞれの地元集落にご寄贈くださいました。

お二人とも職業は大工さんで、忙しい仕事の合間や、夜を中心に、何か月もかけて造ってくれたものです。



製作中の鈴木 武さん



作した神輿と実川弘夫さん

この二基は、八月九日に行なわれたふるさとまつりで大活躍、地元の人たちを大いに盛り上げらせていました。

自治宝くじ助成事業で 宝米に子ども御輿

自治総合センター宝くじ助成事業で宝米に子ども御輿が購入されました。この助成事業は、宝くじ普及広報事業の一環として行なわれたもので、昨年の尾垂子ども御輿に続き、二基目となります。

八月一日には、宝米公民館で御輿の披露式が行なわれ、子どもたちは大喜びで元気に担いでいました。九日に行なわれたふる里まつりにもくり出し、とても好評でした。

親子でほうき作り 日吉地区子ども会

八月九日、日吉地区子ども会(篠本一区六年生が中心に十八人参加)が親子でほうき作りをしました。青竹や竹の穂を材料に、一区の行方静さんがご指導くださったものです。親子で、一つの物を作り上げ

体験農業

七月三十一日から八月二日まで、町と農協青年部が「体験農業」を企画し、多数の参加がありました。体験農業とは、都会に住む女子大生やOLに、二泊



御輿披露式で謝辞をのべる宝米若頭

ることの喜びをみんな十分味わっていたようです。



三日で農業を体験してもらおうというもので、農協青年部で独身男性のいる家庭が受け入れ農家となりました。この体験農業は今年で二年目、昨年は参加希望者が少数でしたが、今年は新聞等で参加募集を掲載したためか、二十五人の参加がありました。参加者たちは、汗を流しながら農家の仕事を手伝っていました。また、二日目の夜には、町民会館でバーベキューパーティーが開かれとても楽しそうでした。この体験から一人でも多く、お嫁さんが来るといいですね。

おじやまします

東陽小学校

慣れない手つきで「ヨッツオ」ない

八月十三日、東陽小学校の五年生が体育館で「ヨッツオ」ないをしました。

春に植えた稲も少しずつ色づき始め、九月そうそうには収穫の時期を迎えます。この「ヨッツオ」は、収穫時に使うために作られたもので、みんな、慣れない手つきで一生懸命頑張っ



豚の世話をする参加者

いました。

